



波の音 なみのね



浅羽学園 袋井市立笠原小学校【学校だより】 令和7年9月30日



令和7年度 全国学力・学習状況調査(6年)の結果分析について

I 調査の概要

本年の4月17日に、6年生が全国学力・学習状況調査を実施しました。市全体の結果報告を受けて、本校の結果について分析を行い、課題に応じた今後の取組をまとめましたので、お知らせします。

2 教科に関する調査 ※県(平均正答率)と比較して数値が高いもの「↑」低いもの「↓」

R7年度 全国学力・学習状況調査(6年) 結果

※数値は平均正答率(%)

【国語】	全 体	言葉の特徴や使い方	情報の扱い	我が国の 言語文化	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
本校	65↓	63.6↓	68.2↑	95.5↑	63.6↓	66.7↓	58.0↑
(県)	66	74.1	63.3	81.1	66.4	69.2	56.3
【算 数】	全 体	数と計算	図形	測 定	変化と関係	データの活用	
本校	49↓	50.6↓	54.5↓	47.7↓	47.0↓	50.9↓	
(県)	57	60.3	57.7	53.9	56.1	60.8	
【理 科】	全 体	エネルギー	粒子	生命	地球		
本校	51↓	48.9↑	43.2↓	39.8↓	55.3↓		
(県)	55	45.7	49.8	48.1	65.5		

【国語科】

○昨年度に比べ、全体的に正答率の向上が見られました。昨年度の結果から、国語の課題を改善するためには「文章読解力の向上」が必要だと考え、「一つ一つの言葉や文に着目する活動」や「何を聞かれているかを意識して文章や表、グラフを読み取る活動」に取り組んできたことが成果として表れたのだと考えられます。

▲「言葉の特徴や使い方」では、「相手のこのみに合わせる」「あつい日に…」を漢字に書き直す問題での誤答が多く見られ、漢字の定着が不十分であることが分かりました。

【算数科】

○「図形」では、台形を選択する問題や方眼に書かれた角の大小を判断する問題で、県よりも高い数値が見られました。無回答が県と比べても低く、自信をもって解答できていました。

▲「数と計算」では、2つの分数を通分して計算することはできても、それを数や言葉で説明することに課題が見られました。

【理科】

○電気の回路の作り方や仕組み、乾電池のつなぎ方を工夫して電流を強くする方法について高い正答率となりました。

▲植物のつくりを答える問題や発芽の条件をどのように制御すれば課題を解決することができるかを考える問題に課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境について(質問紙より)

※県の平均値と差異があった項目で、値が高いものを「○」低いものを「▲」とし、複数抜粹

- 分からぬことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかつた点を見直し、次の学習につなげることができますか。
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
- ▲将来の夢や目標を持っていますか。 ▲学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ▲友達関係に満足していますか。 ▲算数の授業の内容はよく分かりますか。
- ▲算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

○子ども達が知りたい、学びたいと感じたものについて、課題の解決に主体的、協力的に取り組んでいる、取り組もうとしている様子が表れる結果となりました。授業では、昨年度の課題を踏まえ、子ども達の疑問や気になったことをもとに課題を設定し、課題追求型の学習を進めることを意識しています。その成果が子ども達の意識へと表れたことをうれしく感じます。

▲県の平均と比較し、将来の夢や目標が持っていない子、友達関係に悩んでいる子が多いことが分かります。6年生という年齢では、それまであまり意識していなかった、自分の将来や友達との関係に悩みを抱える時期ではあると思います。その一人一人の子どもたちの悩みや不安に寄り添っていけるよう、支援していきたいと思います。

4 今後の取組について

今回の結果から見えた、本校の子どもたちの課題は「問題で聞かれていることを正しく理解すること」や「資料や文章を正しく読み取ること」です。この力を伸ばしていくことが学習全体の理解力向上につながると考えています。そのため、本年度も引き続き「文章を正しく読み取る力（読解力）の向上」と「様々な条件や課題に応じて自分の考えを表現する力（応用力）の育成」に重点をおき、指導に取り組んでいきます。そのために、以下の点を意識して授業改善を進めていきます。

【文章読解力の向上と応用力の育成のために】

- ・漢字の読み書き、計算といった基本的な知識の定着にむけて、学習タイムや授業の中で繰り返し練習する。
(国語)
- ・一つ一つの言葉や文に着目する取組（音読）
- ・教科書以外の文章に触れる、読書の習慣化。（まちじゅう図書館の活用）
- ・条件を設定し、授業の振り返りや自分の考えをまとめて書いたり、「なぜそうなるのか」という理由付けを文章で説明したりする活動を設定する。
(算数)
- ・問題文を読み、情報を図や表に書き出して整理する。
- ・立式するだけでなく「何を求めているのか」を確認する習慣を身に付ける。
- ・答えを求める際に、一つのやり方ではなく複数の解法を考える。
(理科)
- ・観察や実験結果の文章化。
- ・「もしこうしたらどうなるのか」という仮説を考え、その仮説を実験や観察を行い、検証させる活動を行う。